

平成22年度当初予算 施策別概要

321 交通安全対策の推進

(主担当部：生活・文化部)

- 32101 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進 (生活・文化部)
- 32102 安全で快適な交通環境の整備 (警察本部)
- 32103 交通秩序の維持 (警察本部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民一人ひとりが

(意図) 自ら交通安全意識を高め、安全で安心な交通社会の中で活動している

< 施策の数値目標 >

施策目標項目(主指標)		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
交通事故死者数	目標値	-	150人	130人	110人以下	110人以下
	実績値	167人	118人	110人		

交通事故発生から24時間以内の死者数

県の取組目標項目(副指標)		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
無事故・無違反をめざす県事業の参加者数	目標値	-	39,800人	41,100人	42,400人	43,700人
	実績値	38,520人	37,085人	41,085人		
シートベルトの着用率	目標値	-	92.4%	93.3%	94.2%	95.0%
	実績値	91.5%	92.5%	93.6%		
交通事故死傷者数	目標値	-	17,000人	16,500人	15,500人	15,500人以下
	実績値	17,777人	17,075人	15,718人		

< 進捗状況(現状と課題) >

- ・ 県内の交通事故死者数については、平成20年は110人で、前年に比べて8人減少し、統計のある昭和29年以来最も少ない死者数となりました。しかし、減少傾向の定着化の兆しは見られるものの、飲酒運転による悲惨な事故が後を絶たず、また、多くの尊い命が交通事故の犠牲となっているなど交通事故情勢は依然として厳しいものがあります。さらに、高齢化の進展に伴い、死者数全体に占める高齢者の割合は年々高まっています。
- ・ 交通事故死者数の一層の減少に取り組むことに併せ、交通事故件数や死傷者数の減少に向けて、交通安全意識の高揚や交通安全施設の整備など地域の交通安全力を高めるため、ソフト・ハード両面からの対策をより一層積極的に推進することが必要です。

< 平成22年度の取組方向 >

四季の交通安全運動など年間を通じた啓発活動を、県民、市町、関係機関等と連携して進めます。また、市町における交通安全施策の体制基盤の強化に対する支援とともに、高齢者に対する啓発活動を行う交通安全活動指導員の育成など交通事故のないまちづくりへの支援や、地域住民の多様な知恵と創造力を生かした交通安全教育・啓発活動を推進します。

交通事故のないまちづくりを進めるため、通学路等において、歩道や道路照明灯の整備、交差点改良などを計画的に推進するとともに、生活道路等においては地域住民の視点に立ち、交通事故危険箇所等の解消に向けた重点的な整備を推進します。

安全・安心かつ円滑な交通を確保するため、通学路や新設道路などにおいて、信号機の新設・改良をはじめとした交通安全施設の整備を推進するとともに、生活道路等においては、地域住民の視点に立ち、交通事故危険箇所等の解消に向けた重点的な整備を推進します。

交通ルールの遵守とマナーの向上をはかるため、飲酒運転などの悪質・危険な違反や後部座席を含むシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底に重点をおいた取締りや広報・啓発を推進します。

<主な事業>

交通安全運動推進事業

【基本事業名：32101 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進】

予算額：(21) 3,604千円 (22) 3,716千円

事業概要：県民の交通ルールとマナーの向上をはかるため、四季の交通安全運動など年間を通じた啓発活動を、三重県交通対策協議会を中心に、県民、市町、関係機関等と連携して進めます。

(重) 交通弱者の交通安全意識啓発事業

【基本事業名：32101 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進】

予算額：(21) 4,107千円 (22) 4,107千円

事業概要：交通弱者対策の取組を市町や関係機関・団体に紹介するとともに、引き続き、老人クラブ等を拠点に交通安全教育や啓発活動などを行う交通安全活動指導員を養成します。

(重) 民間委託による交通安全教育・啓発活動事業

【基本事業名：32101 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進】

予算額：(21) 25,000千円 (22) 26,098千円

事業概要：交通事故の分析結果を参考にしながら、子ども、高齢者等の交通弱者を対象に交通安全アドバイザーによる参加・体験・実践型の交通安全教育（啓発活動）を行います。

(重) 暮らしの道交通安全施設整備事業【基本事業名：32102 安全で快適な交通環境の整備】

予算額：(21) 48,910千円 (22) 161,884千円

事業概要：信号機の設置要望箇所等のうち、必要性、緊急性の高い交差点において、信号機を整備します。

(重) 自転車・歩行者の安全を確保するみちづくり事業

【基本事業名：32102 安全で快適な交通環境の整備】

予算額：(21) 8,657千円 (22) 10,000千円

事業概要：歩行者等の安全な通行を確保するため、中学生・高校生の通学路における自転車・歩行者用照明灯を整備します。